

飼料用米推進のための畜産セミナーを開催

3月19日、当センターでは、飼料用米のさらなる生産と利用拡大を目指して、飼料用米推進セミナーを開催し、関係者32名の参加がありました。

畜産課、中丹西農業改良普及センター、当センターの担当者が、飼料用米に関する情勢や生産利用推進マニュアルを解説し、福知山市等で生産実証しているタスクチーム活動※の成果を報告しました。また、機械メーカーによる鉄コーティング種子の播種機と飼料用米粉砕機の展示説明も行いました。

農家からは「飼料として利用する上で、飼料用米の保管場所の確保が重要」との意見や機械の性能等について熱心な質問がありました。

平成25年度は、「飼料用米栽培(施肥診断)・保存新技術の実証と普及」をタスクチームの活動テーマとし、引き続き飼料用米の生産と利用拡大の取り組みを進めていきます。

※タスクチーム活動：研究機関と普及組織が連携して地域の重要課題を解決する活動



飼料用米の生産拡大を喚起



飼料用米粉砕機の説明